

愛知県地域保健医療計画（案）へのパブリック・コメントの意見と考え方
（名古屋・尾張中部医療圏分 抜粋）

番号	項目	意見内容	パブリック・コメントに対する考え方
1	名古屋・尾張中部医療圏（がん対策）	<p>私は3年前にがんを発症しました。現在も内服治療を継続しております。</p> <p>この3年の間に感じたことは病院の中に様々な支援体制があるにも関わらず、患者としてその情報を知り得る術が少ないということです。</p> <p>私は幸いにも、がんを発症する前から緩和ケアのこと、臨床腫瘍部門の医師のことを知っていたことで、ありとあらゆる職種の方にサポートして頂きました。それが、どれほど治療に臨むうえで大きな力だったか当人にしか感じられないことだと考えますのでお伝えさせていただきます。もっと患者が「がん患者」になった時から情報をスムーズに得られるように病院側だけに求めるのではなく、市としても助成、研修支援等で「伝える」を強化して頂ければ患者として嬉しい限りです。また、がん患者として、経験者の言葉は心強さを与えてくれます。がんのピアサポーターが充足し、いつでもどこでも気軽に利用できるようなシステム構築等をお願いしたいと思います。</p>	<p>名古屋市では、がん相談・情報サロン「ピアネット」を開設し、がん情報の提供、研修を受けたがんのピアサポーターによる相談支援、疾患ごとの患者間の交流支援、治療と仕事の両立支援等に取り組んでおります。また、市内のがん診療連携拠点病院及び愛知県がん診療拠点病院の相談支援センターと連携し、院内でのピアサポーターによる相談支援を開始しております。</p> <p>今後も更なる取組を進めるとともに、がん患者の方やご家族の方を始め、市民の皆様に御活用いただけるよう周知を図ってまいります。</p>